

3 子育て支援の情報伝達について

①各支援センターで手帳をもらえたりするのですが、この手帳が母子手帳のように市内で統一されたものになり、ほっとクーポンの様な子どもに役立つ券や市内で行われる行事やイベントが一冊にまとまったものがあると嬉しい。



②座談会用の資料でもらった支援ガイドブックがいつ発行されたか知りませんでした。こういう支援に関する役に立つ情報は、広く周知してほしい。

③子どもに関するイベントにはいろいろと参加したいが、検診の日に他のところでは料理教室が行われていたことがあり、参加できなかったので、情報を共有して、イベントの時間帯が重ならないようにしてほしい。



4 産婦人科・小児科について

①土日とかでもちゃんとした小児科の専門医に診てもらいたい。市外の病院に行くと1日費やしてしまうので、小児科を充実させてもらいたい。

②現在は、小学校に上がるまでは病院での医療費が無料ですが、他の自治体では小学校6年生まで無料とかあるみたいです。国東市は、予防接種の補助が充実していてありがたいですが、もう少し医療費が無料となる年齢を引き上げてほしい。

③産婦人科がないならば、いつ陣痛が来てもいいようにバスタオルセットと研修を受けたドライバーを用意しているマタニティタクシーを配置できないか。



5 その他

①安岐町に2つあった放課後児童クラブのうち、児童館にあった分は、児童の移動の安全性を考えて、安岐中央小学校に移ったが、復活することはできないか。

②遠方から友達が子どもを連れてきた時に、自分の子ども用以外にチャイルドシートが必要になって困りました。それで、突発的にチャイルドシートが必要な時に、短期間貸出することはできないか。



③私は、大分市から来たので比較するのですが、さっき6年生まで無料じゃないからとかいう意見もあったけど、私からしたらすごく恵まれていると思います。予防接種とかいっぱい助成も出るし、出産したら3万円もらえるし、本も検診でくれたし、もっと国東市が頑張っていることをアピールしていった方がいいと思います。



「私たち世代がもっと国東市を好きになるために」

子育て中のお母さん編



今回、結婚を機に国東市に移り住み、家庭で子育てをしているお母さん達6名で座談会を行いました。

国東市に来て子育てをして感じたこと

1 子どもの遊び場について

- ①安岐町の「たいたい公園」をよく利用するが、子どもが砂遊び好きなので、砂場を求めて結局市外の公園に行ってしまう。
- ②国東町にある公園は、年齢層が偏った遊具を設置しており、適年齢の子ども以外は遊びにくくなっている。
- ③別府や大分だったら、土日支援センターが開いているので、雨が降っても遊ぶ場所があるが、子どもが小さいと図書館にも行けず出かける場所がない。



2 子育て支援センターについて

- ①子どもが2・3歳になるとママ友が出来て色々なことが聞けるようになった。しかし、生まれたての頃は何もわからないばかりだったので、支援センターが存在していることだけで安心することができた。
- ②他市の子育て支援センターを利用した時、保育士さん達は子どもと接してくれなかったのが、いつも遊んでくれる国東市の支援センターの良さを感じた。
- ③保育士さんと親との距離がすごく近いから相談がしやすい。支援センターを卒業しても、子ども園とか小学校でも今のこのような関係を持てる方法があればいいなと感じている。

